

# ちよボラだめ

新見市社会福祉協議会では、学童期からのボランティア活動として、自分にもできる「ちょっとしたボランティア"ちょボラ"」を推進しています。 この取組は、児童自身が身の回りの人や地域との関わりの中で「私にもできること」を考え、体験することにより、思いやりの心やボランティア意識 を育むことを目的に行っています。

## 市内全小学校で実施!! 372人が「ちょボラ」に取り組みました!



草取り、花壇の水やり 公園や道のごみ・落ち葉拾い 大きな石・木を端に寄せる 募金、訪問活動に参加

## 環で守るために

エコバックの利用 ゴミの分別、リサイクル クリーン作戦に参加 緩んだ蛇口を締める ゴミを持ち帰る



お祭りのごちそうを おすそ分けしました

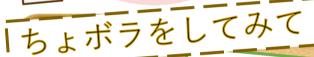
困っている人へ声かけ あいさつ、荷物を運ぶ手伝い 次の人のためドアを開けて待つ

落とし物を拾い届ける

全児童の取り組み回数

合計 3. 3920







ちょボラに取り組んだら みんなが笑顔になったの で、これからも続けよう と思います。

ちょボラも重ねたら大き なボランティア活動に なり、小さなことも 大切だと分かりました。

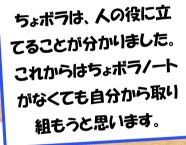
地域の人が喜んでくれ たので、これからもがん ばろうと思いました。

いつも何気なく過ごして いるけど、周いを見ると たくさんの落ち葉やゴミ が落ちていることに気づ きました。

> ポイ捨てされている空き 缶の多さにおどろきま した。この活動を通して 良い町づくりができれば いいなと思いました。

地域の訪問活動に参加 しました。ちょボラを通 して、地域との関わりが 大切だと分かりました。

> これからは、地域の人に たくさんあいさつをして いこうと思いました。





保護者の声

「募金をしたよ」と聞いて、自分の事だけ ではなく、自分以外の事に目を向けている ことがすごいなと思いました。

公園の溢れかえったゴミ箱を見て、「どうして誰も 回収しないのかな」と話すなど、今まで気にならな かった事に目が向き、自然とボランティアに関心がちょボラに取り組む 高まることをわが子を通して感じました。

地域の方と話したり、ゴミ拾いする様子を見てほっ こりしました。困っている人に話しかけている姿も 見られ、心身共に成長しているんだな思いました。





担任の先生の声 朝、学校に来ると、「先生、○○したよ」 「○○もボランティア?」などと ボランティアに関する会話が増えました。

クラスの中で「誰かのために」「これもボラン ティアになるんだ!」という意識や発見をし ながら生活ができるようになっていました。

友達同士でどんなちょボラをしたのか やり取りをしていて、ボランティア意識が 高まっている様子でした。



### あとがき

ちょっとした思いやりをもって様々なちょボラ活動が行われたことで、笑顔の花がたくさん咲きました。子どもたちからは、「人や地域のために行動する と、自分自身や周りの人、そして、地域も気持ちが良くなることだと学んだ」といった感想が多く見られ、ご家族からは、「自分にできることを探して取り 組む子どもの姿に成長を感じた」といった感想が多く寄せられました。

これからの生活の中でもちょボラ体験を活かし、思いやりの輪が広がることを願って、新見市社会福祉協議会では、今後もちょボラを推進していきます。